

昨日のスキージャンプ、小林選手の金メダル、すごかったですね。

先週の金曜日から北京オリンピックが始まりました。冬のオリンピックは 1924 年、フランスのシャモニーで初めて開催され、そこから 1992 年のアルベールビルオリンピックまで、夏のオリンピックと同じ年に開催されていました。1994 年リレハンメルオリンピックからは夏と 2 年ずれた時期に開催されています。東京オリンピックが 1 年ずれた関係で、ついこの前に夏のオリンピックをしていた感じがですね。

主な競技は、スキー、スケート等、氷や雪を使う競技です。

北京オリンピック 2022 では、冬のオリンピックでは今までで一番多い 109 種目が実施されます。ジャンプ混合団体、フリースタイルのビッグエア男女とエアリアル混合団体、スノーボードクロス混合団体、ショートトラック混合リレー、ボブスレー女子 1 人乗りの計 7 種目が新種目として実施されます。

4 人の日本選手のコメントを紹介します。

★日本選手団の主将を務める高木美帆選手

「この舞台に立てる喜びを胸に、また皆様の応援を推進力に変えて、前へ前へ進んでいけるよう頑張ります。応援よろしくお願ひしま

す」

★先生が最も注目している平昌オリンピック 500mスピードスケート金メダリストの小平奈緒選手

「世界的に困難な状況のなか、自己表現できる舞台に立てることに感謝しています。唯一無二の挑戦に果敢に挑み、私なりの『生き様』を示せるよう最善を尽くします。世界の仲間との試し合いを心から楽しみ、心温まる瞬間を皆様と共有することができたら幸いです」

★五輪3連覇がかかるフィギアスケートの羽生結弦選手

「このような状況のなかで、オリンピックが開催され、その舞台で演技できることに、さまざまな気持ちが存在しています。自分自身が感染しないように、感染を拡大させるための起因とならないようにすることと、競技に集中するための時間や、十分な呼吸が必要な場面などを高いレベルで両立することは、とても難しいことだと思います。そして、私たち選手の安全な空間を作ることも大変なことだと思います。そのなかでの演技をととても大切に、大事にしていきたいと思っています」

★スキージャンプ複合 開会式では旗手を務めた渡部暁斗選手

「コロナ禍でスポーツができる喜びを感じ、東京オリンピック観

戦から元気をいただきました。スポーツの価値を改めて感じるなかで、応援してくださる方々にスポーツのすばらしさを感じていただけるようなオリンピックにしたいと、今まで以上に思うようになりました。最高のレースをして日本へメダルを持ち帰り、その先に誰かの心が動かされる瞬間が訪れるよう最後まで全力を尽くしたいと思います」

その他にも、紹介したい人がいますが、長くなるので、省きます。

そして最後に、我らが S 先生が、土日北京オリンピックの見どころをまとめた「S 先生の推しンピック」を作ってきてくれました。ぜひ、「S 先生の推しンピック」を見て、オリンピックを少しでも見てください。オリンピックの明るいニュースで、みんなにいろいろなスポーツに興味を持ってもらえたらうれしいです。